

ご挨拶

解決できない問題はない。

よく考えてみるとその通りである。すぐには解決できないかもしれない。時間がかかるかもしれない。関係者全員が満足できる解決策を見つけるのは難しいかもしれない。

しかし、畢竟問題にしているのは「人」である。人間が問題にしているのであって、最終的には落ち着くべきところに落ち着く。不動産屋的表現をすれば、売れない不動産はない。思っている価格では売れないかもしれない。しかしいつかは売れる。いくらでもよければ買う人はでてくる。

極端な話、問題にしている人が死んでしまえばその問題はその人にとっては消滅してしまう。他の人がそれを問題としてとらえるかどうかはまた別のことである。

すべては最終的に解決されるという前提で物事を考えていくしかないのではないか。このような希望的・楽観的発想のもと、毎日の営みに全力を尽くし、毎日の自分の動きを楽しんでいる。
(杉浦勝昭)

杉の実倶楽部活動 (平成23年11月-12月)

- 11月 2日 (水) 16:00-20:00
杉の実囲碁の会
古家裕子インストラクター指導碁
- 16日 (木) 18:00-20:00
杉の実ネクスト交流会
30-40代の若手・中堅異業種交流会
士業の参加も多い
- 17日 (木) 14:00-16:00
杉の実サロン
「弁護士として見てきたもの」
話者 木村達也氏
- 12月 7日 (水) 16:00-20:00
杉の実囲碁の会
(毎月開催)

○詳しくは弊社までお問い合わせください
TEL 06-6976-6194
E-mail: suginfo@sugiura.co.jp

漢字一字

毎年その年を象徴する漢字がひとつ発表されます。

そんなアイデアを借用して、われらが「杉の実だより」の書き手たち、つまり杉浦実業の社員に次のような設問をしてみました。

設問：自分自身を漢字一字で表すとすれば、どの漢字になるでしょう。また、それについてのコメントもできればお願いいたします。

誰が書いているか分かりますか。

1) 漢字一字：酔

コメント：お酒に酔うのもさることながら、いろいろな事に陶酔してみたい願望も含めてこの一文字を選びました。

2) 漢字一言で表すと、”無”です。

交渉等をする時に、最初は”無”になって話を聞き、それからアドバイスして方向性を決めて行くようにしている。経験を積むと、固定概念を持ってしまいます。今の時代は流れが速いので、最初話を聞く時は”無”になる事を大事にしています。

3) 「直」です。

意外とまっすぐな人間なんです。頑固者でもあります。でも融通は利きます。

4) 「差」

見た目(第1印象)と実際に話したりした印象が全然違う、とよく言われる。

実は、喜怒哀楽や人の好き嫌いが激しい・・・やるときとやらないときの差が激しい。

5) 漢字一字：「一」

一：名前に入っています。

一：自分はゼロでもなく、マイナスでもない、ゼロより大きいプラスです。

6) 「優」

理由：最近、周りの人達にすごく優しくしていただいている様な気がしております。

なので自分自身も今まで以上に人に優しくをモットーに日々過ごしたいと考えております。

7) 私を漢字で表すと・・・

「笑」

わらう。いつでも笑っていたい、周りに笑いを振りまいていたい。

そんな自分でありたい、いつもそう思っています。

8) 長

→ 長女の『長』。

背負いたがりの、仕切りたがりなので。

9) 漢字1文字ですが、「麵」でお願いいたします。

理由は1日1回麺類を食べるほど麺が好きなので。

はて、だれが書いたのでしょうか。

Facebook

フェイスブック、今年に入ってから急速に日本でも普及してきて、話題にも上る事が多くなってきましたが、皆さんは利用されていますか？

私も日々起こった事などを、そのときの勢いで更新したり、美味しそうなものを食べたとき等、自慢がてら割とまめに更新しています。

そのフェイスブックで、中学・高校同じ寮生活をしていた友人と15年ぶりに再会し、このあいだ、一緒に食事をしてきました。

学生時代、それも6年間同じ釜の飯を食べてきた友人、15年のブランクを感じさせず、昔と同じように話し、笑い、大変楽しい時間が過ぎせました。もしフェイスブックをやっていなかったら、もう出会うことが無かった人との縁が復活したことを心からうれしく思いました。

実名のソーシャルネットワークサービス、フェイスブック。報道では、個人情報云々の問題なんかも

良く取り上げられ、二の足を踏んでいる方も多いと思います。私は思います、「とりあえず、やってみませんか？」もしかすると、いいことが起こるかも知れませんが！

(しんち)



おすすめ焼肉

東成の食べ歩きネタがどんどん少なくなっているなか、今回ご紹介するのは、焼肉・ホルモンのお店です。

店の名前は「炭火焼肉キョロちゃん」。場所はJR環状線・地下鉄中央線森之宮駅から徒歩5分のところにあります。七輪炭火焼スタイルで、下町風情が残る場所にあるのですが、店内は明るく排煙設備も完備された清潔感のある焼肉屋さんです。

今まで5・6回行っているのですが、印象はお肉の質もさることながら、値段が非常に良心的です。いい値段を払えばいいお肉はどこでも食べられるのですが、安い値段でそこそこのお肉を食べるにはもっていいお店だとおもいます。

今は生ものは出されていないのですが、生レバーがあったころはすぐ売り切れる人気メニューだったみたいです。

もちろん焼き物も充実していて、特にホルモンは種類が豊富で、あまり聞きなれない部位も食べることができます。是非一度行ってください。



住所：大阪市東成区中道1-12-13

電話：06-6981-2127

時間、定休日：17：00～22：30 月曜・第三日曜休み

駅：JR森之宮駅・地下鉄森之宮駅

(ならづけ)

自然の力と情報

今年は自然の力を思い知らされた。地震・津波のとてつもない力。台風・洪水。気温の急激な変化等々。「100年に一度」とか「1000年に一度」とか「想定外」という言葉を何度聞いたことか。一見自分の生活は、自分でコントロールしているように思うのだが実は自然を前にして、いかに無力かを再認識した。

青森の知人の話として、近年の猛暑で海水温の上昇によりホタテの稚貝がとれず陸奥湾は不漁、リンゴは花芽ができず一個も実がならない木もあるとか。海にも山にもいろいろな影響？変化？が出ているようだ。

防災グッズが売れているという。しかし、これもまた「何に対して」「何日間用」等それぞれどのように「想定」して揃えればいいのか。

また、情報はいつも手に入るとは思っていないか。電気・水・食糧・薬・衣服等いつもあると思っていないか。肝心な時に情報が入らずどう行動していいかわからなかったという話をよく聞く。

非常時こそ情報が重要である。そして冷静な判断と行動が要求される。はたして私は、どのような対応ができるのだろうか不安になる。

最近、インターネットでもスマートフォンでもラジオが聴けるようになった。

間もなくIフォンでも聴けるようになるようだ。世の中便利になってはいる。

それはさておき、私が注意している事の中に「トランシーバーの電池が切れないように」というのがある。もちろん乾電池も用意している。

アマチュア無線用機材で、双方向（受信と発信）で情報の交換ができるし相手は不特定多数、またラジオとしても使えるこれこそ便利な一品であると思う。

(ネプ)



蟹は元気です

“とれとれピチピチカニ料理～”のかに道楽ですが、東大阪市高井田にあるのはご存じでしょうか？仕事から中央大通はよく通り多い時には、2往復・3往復する道です。

夏も終わりに近づき8月下旬の事です、日本中が電力不足で節電している時、ふとかに道楽の看板である蟹を見ると「蟹が動いていない」ことに気が付き、自分自身で忙しい事にかまけて、目の前だけ見て、回りを見ているつもりが、回りを見えていなかったことに気が付き、凄く反省をしました。

今はかに道楽の蟹は元気に動いていたので何故か安心しました。 ヨッシー

国史跡一飛驒高山

岐阜県がなぜ「長い歳月と多額の費用をかけ修復と復元をしたのか？」と興味があり、高山陣屋を目的に高山へ。

私を感じた「へえ～！」をご紹介します。
<すでにバリアフリー？>

文化13年(1816年)のまま。式台は身分の高い者が駕籠で乗りつけるため低くしつらえてある。駕籠の引き戸の高さが、ちょうど式台の高さになっている。

<時代が変われば「畳」も変わる>

畳のへりは3種類で、身分によって立ち入れる場所が決まっている。柄物へりは郡代以上で、黒へりは役人以上で、へりなしは女中の部屋。今の住宅ではへりなし畳のほうが人気らしい。

<公務員が職人さん?!>

建物の屋根はすべて板葺きで、3種類のくれを使用(樹齢200年ほどの木)。御門、門番所、御役所、土蔵、書物蔵は、半くれ熨斗葺(約45センチ)、御蔵は石置き長くれ葺(約75センチ)、玄關庇は柿葺(柿:コケラと読み、約36センチ)で葺かれている。金閣寺も柿葺き屋根。板の表面には細かい溝が出来、雨水はこの溝に沿って流れる。

今では職人が2人しかおらず、なんと県の職員が板を作り屋根葺き作業を行なっている。飛驒特有の伝統的な技術を継承する意味もあり、現実には伝統を守る事は厳しい。

<エコの最先端で出来た芸術>

蔵の屋根は庇が長く突き出た独特な特徴がある。葺いた板が風で吹き飛ばされないように、石を置いて固定した屋根。釘で打ちつけないので、5年ごとに「くれ」を表替え、上下替えをして(表、裏、前、後の4回)・・・一枚の板で20年もたせる。

そうして出来た蔵の屋根を見上げれば「格子模様」。

昔の高山民家のほとんどは、この葺きかたでお洒落だ。

<からくり仕掛けの自在鉤>

湯呑所と茶の間と下台所の三箇所「いろり」と「じざいかぎ」がある。「子猿(こざるは、鯉や流木や小槌)」を片手で支えながら、自在棒を調整し使用する。なんと合理的!

<雪国ならではの工夫>

寒さの厳しい冬のため、「北の白州と御白洲」や土間には屋根がついており、雪や風をしのいでいた。

<真向兎の釘隠し>

昔の建物は、釘隠しが1つのインテリアのようである。

何故うさぎ??・・・由来はいろいろ。「民百姓の意見をよく聞くために、耳の大きなうさぎを使った」あるいは、「弘法大師が嵐を鎮めた時にうさぎがいた」や「うさぎに変更したら男子が生まれた」の魔よけの意味。あるいは火避け、火災予防の意味があった。

◆余談◆ うさぎが、たぬきが背負った薪に火をつけ、ひどい目に遭ったたぬきがうさぎを追いかけた。うさぎは、何故か‘鶉’と‘鷺」という二羽の鳥になって逃げた・・・現在のうさぎの数え方、「1羽2羽・・・」と至る。

高山陣屋の入場料420円・・・行く機会があれば、無料の説明案内をお勧めします(県の職員や保存会が実施)。とても解りやすく聴き入ってしまいます。説明付きでの所要時間は、2時間確保することを重ねてお勧めします。 ノッポさん

弄堂(ロンタン)

今回は地元東成区にある焼き小籠包の店を紹介いたします。

店の名前は「弄堂 生煎饅頭」。小籠包のことを上海では生煎饅頭(シェンチェンマントウ)というらしいです。

私自身焼き小籠包というのは初めてで一般的な小籠包(蒸したタイプ)はこれまでも何度か食べたことがありますが、焼きは初体験でした。焼き小籠包は底についたカリカリの焦げ目とたっぷり肉汁が魅力で本当に美味しかったです。

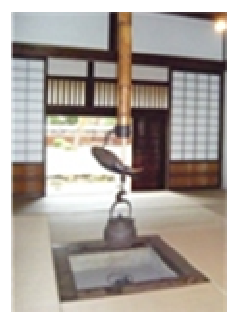
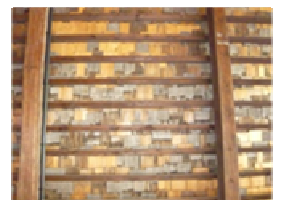
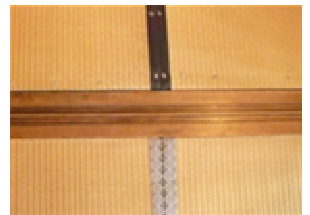
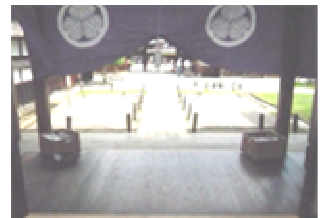
メニューも焼き小籠包の他スープ(サンラータン)・水餃子・ジャージャー麺がありどれもリーズナブルなお値段でした。お持ち帰りはもちろん店内で頂くこともできます。場所はJR環状線玉造駅2番出口より北へ徒歩約2分のところですので、すぐに見つかると思いますよ。

住所: 大阪市東成区東小橋1-2-1

営業時間: 11:30~21:00(平日) 11:30~20:00(日祝)

*売切次第終了

(虎)



海遊館「バックヤードツアー」

大阪市港区海岸通にある世界最大級の水族館「海遊館」。

何度かいったことがありましたが、単に見学するだけでなく他の楽しみ方もしてみようと、今回は「バックヤードツアー」を体験してきました。



海遊館のマリンメイトさんが専用のイヤホンを使って、7月にやってきたジンベエザメの「遊ちゃん」のいる太平洋水槽の給餌見学と飼育係員が作業するバックヤードを案内してくれました。

メインの太平洋水槽を上から見下し、ジンベエザメ、ナンヨウマンタ、イトマキエイのエサを食べる様子を見ることが出来ます。

ジンベエザメは成長すると全長が12～13mになる世界で一番大きな魚類。

今いる「遊ちゃん」は、高知県で漁師さんが仕掛けている大敷網（定置網の一種）にかかっていたそうです。

ジンベエザメの様子はとてもダイナミック。大きく口を開けてやってきたところへ飼育係員がひしゃくでタイミングよくエサのオキアミを口の中へ流し込んであげていました。ジンベエザメは大量の海水とともに吸い込んだ後、口の奥にあるエラでエサを濾して、海水だけエラの穴から外に出すそうです。

長い時間かけて何回も食べているうちにだんだんと「立ち泳ぎ」になってきていました。

そのあと、サメの卵やタカアシガニの殻に実際に触れ、マリンメイトさんのクイズを交えたわかりやすい説明で、普段は見られない海遊館の“うら”を満喫しました。

ツアー終了後は、そのまま館内を見学しましたが、また違った楽しみ方ができてよかったです。今度は、夜の生き物の様子を見ることが出来る「ナイトツアー」を体験してみたいと思います。（ゆず）

初めてにチャレンジ！

9月に行った韓国旅行で、今回は何事にもチャレンジしてみようと友人と話していました。

まず、釜山の金海空港に到着して市内へ移動する際、空港リムジンバスがホテルの近くに停まらなかったのがタクシーで移動するか悩んだのですが、市内バスだと1800ウォン（約150円）。タクシーに乗るのはもったいないなあ～と釜山の市内バス初チャレンジしてきました。

2つ目、昨年ソウル駅から仁川空港までを結ぶ仁川空港鉄道が全区間開通し、ソウル駅では都心空港ターミナルサービスが開始されました。今回大韓航空だったので、このサービスを利用してきました。搭乗手続き⇒出国審査⇒仁川空港直通列車乗車⇒仁川空港で出発ゲートの専用出国通路で出国。スーツケースを預けてしまえるので、それからまた観光や食事、買い物をすることができ、空港まで手ぶらで移動できるので、とても便利なサービスでした。

3つ目、「弘大」という地域に遊びに行くつもりが、急に思い立って一つ手前の駅「梨大」で降りてみました。ここは韓国一のお嬢様大学「梨花女子大学」があるところで、せっかくなのでキャンパス訪問してきました。広大な敷地の中に独特なデザインの大きな建物 巨大複合施設ECC (Ewha Campus Complex)があります。ここには、レストラン、フードコート、カフェ、コンビニ、服屋、本屋、花屋、映画館、ジム、演劇ホールなどありとあらゆる施設がそろっており、部外者の利用もできるのです。残念ながら時間がなくて、すべての建物を見ることができませんでしたが、十分梨花女子大の雰囲気は味わえたかな？と思います。

まだまだ初めてのチャレンジはありましたが、今回は取り合えずこの辺で・・・。

(みるて)

フィギュアスケートのお話

皆さまご無沙汰しております、復活セバスチャンです☆

さて、今回のネタは、〆切日の翌日に行く予定の『フィギュアスケートのアイスショー』について、でございます。

セバスチャンとフィギュアスケート、そもそもの始まりは、セバスチャンの妹が大のフィギュアスケートファンだったコトから。一緒にテレビを見ている最中でも、試合中（特にお気に入りの選手の演技中）は、周りが声を出すコトも控えなければならない程の熱心振り。……まあ、セバスチャンの声が大きすぎるのも理由のひとつではあるのですが(笑)

するコトがないので、自然とテレビに集中している内に、セバスチャンも演技・技や選手に詳しくなり、前々回の冬季オリンピックにて、まんまとステファン・ランビエール選手に一目惚れしてしまう体たらく\(^o^)/ 気付けば、妹と共にアイスショーに参加しておりました☆

曲の内容や技構成に決まりのある選手権などは違って、アイスショーではライトアップを多用し、曲の種類や演技も自由で、見どころ満載です！更に、普段は競い合っている選手達が、楽しそうにひとつのプログラムを演じる姿も見るコトが出来るのです♪男子シングル選手と女子シングル選手のペアプログラムや、全員でアップテンポな曲で踊るシーンは、とっても楽しいですよ～！アイスショーでは技の難易度や、技名、ルールなどが分からなくても楽しめますので、機会があれば、是非一度はご覧頂くコトをオススメ致します(*~*)

以上、復活セバスチャンで御座いました！お付き合いありがとうございました～(^)

(セバスチャン)

